

～ 災害に備えた特集 ～

災害時における相互協力に関する協定の締結

9月11日（木）に桐生倶楽部会館にて“災害時における相互協力に関する協定”を締結しました。これは、災害発生時に桐生市社協と本会が設置・運営する災害ボランティアセンターに対し、桐生青年会議所が平時から連携し、円滑な支援体制づくりを目的とした協定です。



▲ 災害時相互協力協定

また、9月13日（土）には大間々東中学校にて桐生青年会議所が主催する広域避難訓練に桐生市社協と一緒に参加させていただき、参加者へ社協のPRと桐生青年会議所との平時の繋がりを持つことができました。



▲ 広域避難訓練

大間々高校で 災害ボランティア講座開催

10月17日（金）に県立大間々高等学校にて災害ボランティア講座を開催し、社会福祉基礎を選択している2年生を対象に授業を行いました。改めて災害の恐さを認識するとともに、災害をイメージ化したカードゲーム「クロスロード」では、こんな時自分だったらどうするかを生徒同士で意見交換し合い、災害時の自分の行動を深く考えることができました。



地域の力で災害に備える！ 東町神戸地区自主防災訓練

11月16日（日）東町神戸地区にて地域住民による自主防災訓練が行われ約50人が参加しました。今回の訓練は要支援者の避難誘導、炊き出し、火災時のバケツリレー等、実践的な内容で構成されました。小西区長は「年に1度の訓練を行うことで、地域が一つになり、仲間意識も高まる。いつ起こるか分からない災害は、地域の連携が命を守る」と語り、今後も継続して訓練を行うと共に、日頃の見守りや交流も大切にしていく意欲を示されました。



災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施

11月8日（土）に岩宿博物館第一駐車場にて、今年度も同じ目的を達成するために他機関・団体が協力して運営する“協働型”の災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。市防災危機管理課や社会福祉課をはじめ、市内防災士や大間々高校の生徒、こども食堂ネットワーク、県内社協からと幅広く参加していただきました。平時に築かれた他機関・団体のネットワークが緊急時の迅速かつ的確な支援に繋がります。

参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

